

●世界の主な地震

平成 28 年（2016 年）9 月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布を図 1 に示す。また、その震源要素等を表 1 に示す。

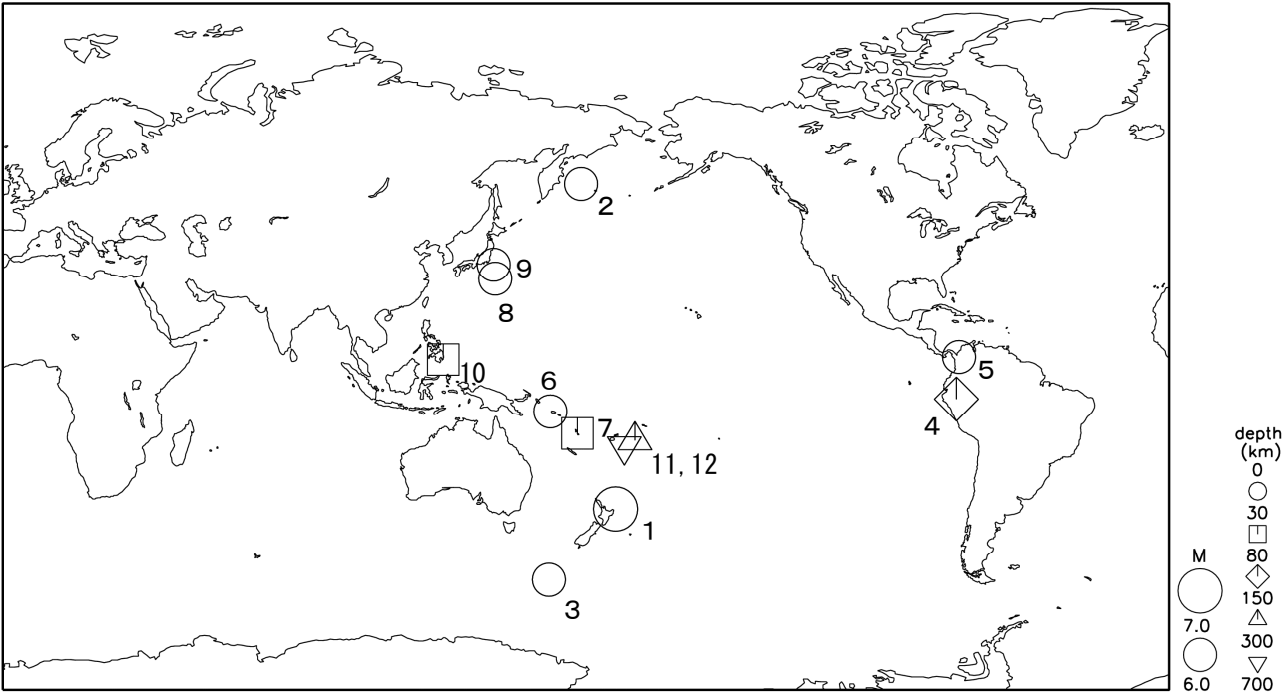


図 1 平成 28 年（2016 年）9 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布

* : 震源要素は米国地質調査所 (USGS) ホームページの” Earthquake Archive Search & URL Builder” (<http://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による (2016 年 10 月 3 日現在)。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素は気象庁による。
** : 数字は、表 1 の番号に対応する。
*** : マグニチュードは表 1 の mb (実体波マグニチュード)、Mj (気象庁マグニチュード)、Mw (モーメントマグニチュード) のいずれかを用いて表示している。

表 1 平成 28 年（2016 年）9 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ (km)	mb	Mj	Mw	震央地名	備考 (被害状況など)	北西	遠地
1	02日01時37分	S37° 24.1′	E179° 3.3′	19			7.1	ニュージーランド北島東方沖			○
2	06日07時54分	N54° 23.9′	E168° 31.5′	18			6.1	コマンドル諸島付近			
3	09日06時46分	S54° 36.9′	E158° 42.8′	10			6.1	マツコーリー諸島付近			
4	10日19時08分	S05° 35.0′	W076° 57.9′	114			6.0	ペルー北部			
5	14日10時58分	N07° 22.7′	W076° 9.4′	17			6.0	コロンビア北部			
6	14日16時24分	S09° 22.1′	E159° 8.7′	10			6.0	ソロモン諸島			
7	17日11時31分	S16° 0.8′	E167° 25.9′	37			6.0	バヌアツ諸島			
8	21日01時21分	N30° 33.1′	E142° 19.2′	10*		6.5	(5.9)	鳥島近海			
9	23日09時14分	N34° 29.3′	E141° 39.5′	10*		6.7	(6.2)	関東東方沖		○	
10	24日07時53分	N06° 34.8′	E126° 29.1′	65			6.3	フィリピン諸島 ミンダナオ島		○	
11	25日06時07分	S18° 7.6′	W175° 2.3′	183			6.4	トンガ諸島			
12	25日06時28分	S19° 51.0′	W178° 16.4′	596			6.9	フィジー諸島付近			

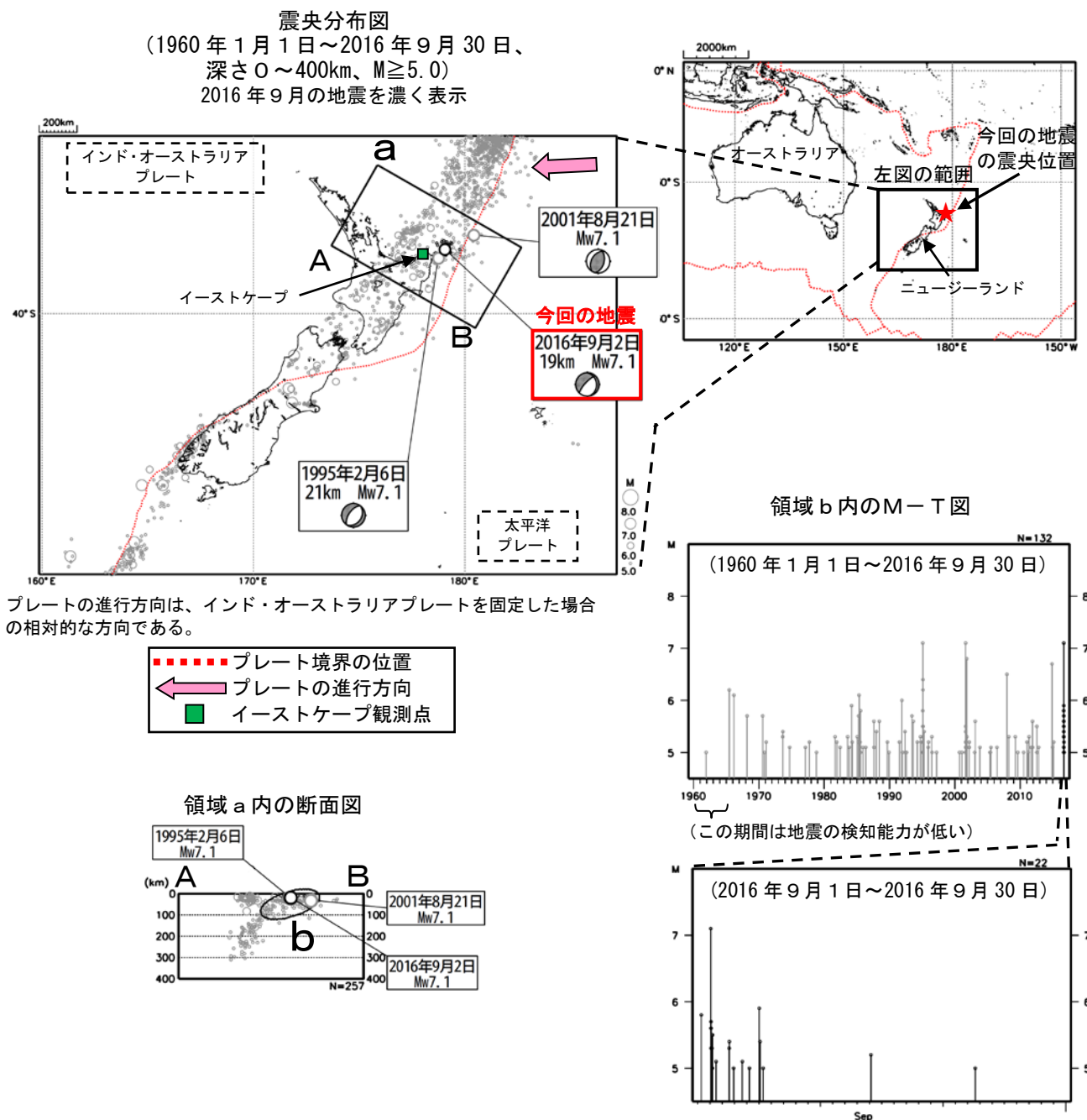
・ 震源要素は米国地質調査所 (USGS) ホームページの” Earthquake Archive Search & URL Builder” (<http://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による (2016 年 9 月 12 日現在)。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、Mj の欄に記載したマグニチュード、Mw の欄に括弧を付して記載したモーメントマグニチュードは、気象庁による。
・ 地震発生時刻は日本時間 [日本時間＝協定世界時＋9 時間] である。
・ 「北西」欄の○印は、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報 (NWPTA) (地震・火山月報 (防災編) 2005 年 5 月号参照) を発表したことを表す。
・ 「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地地震に関する情報」を発表したことを表す。
・ 深さに「*」を付したものは、気象庁による CMT 解のセントロイドの深さを表す。

9月2日 ニュージーランド、北島東方沖の地震

2016年9月2日01時37分（日本時間、以下同じ）にニュージーランド、北島東方沖の深さ19kmでMw7.1の地震が発生した。この地震の発震機構（気象庁によるCMT解）は、西北西－東南東方向に張力軸を持つ型であった。この地震は、インド・オーストラリアプレートに沈み込む太平洋プレート内で発生したと考えられる。この地震による被害は発生していないが、9月中に今回の地震も含め、M5.0以上の地震が22回発生するなどややまとまった地震活動がみられた。

気象庁は、2日02時03分に遠地地震に関する情報第1号（日本国内向け、「この地震による津波の心配はありません。」）を、その後、太平洋津波警報センター（以下、PTWC）の震源要素の訂正及び津波観測を受けて、同日3時1分に遠地地震に関する情報第2号を発表した。今回の地震の震央付近のイーストケープ（ニュージーランド）では、0.21mの津波が観測された。

1960年以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近（領域b）では、今回の地震を含め、M7を超える地震が3回発生している。今回の地震の震源付近で発生した1995年2月6日の地震（Mw7.1）でも今回の地震と同様に被害は発生していない。



※本資料中、今回の地震の発震機構とMwは気象庁による。1995年2月6日の地震と2001年8月21日の地震の発震機構及びMwは、GlobalCMTによる。震源要素とその他の地震のMwはUSGSによる。津波の観測値は、PTWCによる（9月4日現在）。プレート境界の位置と進行方向はBird（2003）*より引用。

*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.